

DermLite DL100

HOW TO USE

-正しい使い方-

2013年度 ver.
-学生実習用-
ダーモスコープ
の使い方
北大皮膚科



- ダーモスコープは、皮膚表層での光の乱反射を防止した状態で、病変部を拡大して観察する装置である。
- 血管や色素病変の観察に適しており、簡単で、有益な情報が得られる検査である。
- 2段階診断法を用いて、系統立ててアセスメントしよう。

<DermLite DL100 について>

- ダーモスコープは、皮膚表層での光の乱反射を防止した上で、明るい白色光を照射しながら、10-20倍程度の拡大像を観察する診断装置である(図1)。
- DermLite DL100は偏光を用いた非接触型機器であり、ゼリー塗布が不要。

■実際の使い方(図2)

- ①観察対象が汚れたり、化粧品が付着していたりする場合、観察前に拭い落とす。
(特に足底などの角化が強い部分は、酒精綿で拭いてから使用すること)
- ②光源ボタンを押しながら、観察対象から1-2cm離れた位置に構える。
- ③レンズの直前に自分の目を近づけて、距離を微調整してピントを合わせ、対象を観察する。
- ④色素の分布、血管の特徴などの所見をもとに、二段階診断法を用いてアセスメントを行う。



図1: DermLite DL100

- ①観察対象が汚れたり、化粧品が付着していたりする場合、観察前に拭い落とす。

CLEAN UP!



- ②光源ボタンを押しながら、観察対象から1-2cm離れた位置に構える。



- ③レンズの直前に自分の目を近づけて、距離を微調整してピントを合わせ、対象を観察する。



- ④色素の分布、血管の特徴などの所見をもとに、二段階診断法を用いてアセスメントを行う。



nevus cell nevus